

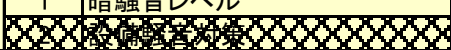
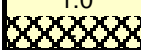

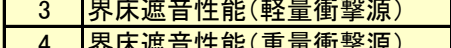
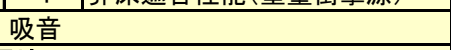










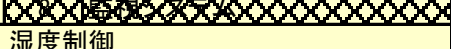


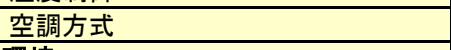
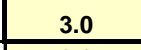
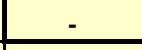
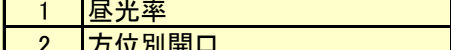





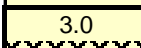

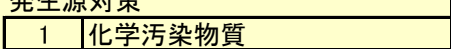
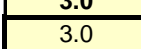
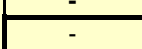







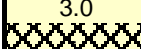











**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**生協けんこうプラザ**

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.6</b>	0.15	-	-			<b>1.6</b>
1.1 騒音		<b>1.0</b>	0.40	-	-			
1 暗騒音レベル		1.0	1.00	-	-			
			-		-			
1.2 遮音		<b>2.0</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.52	-	-			
2 界壁遮音性能		1.0	0.48	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-			
1.3 吸音		<b>2.0</b>	0.20	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	-	-			<b>2.6</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 室温設定		3.0	0.38	-	-			
			-		-			
3 外皮性能		3.0	0.25	-	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
			-		-			
			-		-			
			-		-			
			-		-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.6</b>	0.25	-	-			<b>2.6</b>
3.1 屋光利用		<b>1.8</b>	0.30	-	-			
1 屋光率		1.0	0.60	-	-			
2 方位別開口			-		-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
			-		-			
2 屋光制御		3.0	1.00	-	-			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
1 照度		3.0	1.00	-	-			
			-		-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.1</b>	0.25	-	-			<b>3.1</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-			
			-		-			
			-		-			
			-		-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.39	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.21	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.39	-	-			
			-		-			
4.3 運用管理		<b>3.7</b>	0.20		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.30	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙とする	5.0	0.70		-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.2</b>	0.40	<b>1.0</b>	1.00			<b>3.2</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.20	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.20		-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.60	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>3.6</b>	0.34	<b>1.0</b>	1.00			
1 広さ感・景観	事務室の天井高さは2.7mとしている	4.0	0.20	-	-			
2 リフレッシュスペース	休憩室、自動販売機設置	5.0	0.20		-			
3 内装計画		3.0	0.60	1.0	1.00			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.18		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.31		-			<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.7</b>	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.2	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	キュービクルは屋上に設置	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.3	0.29	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	1~4階の階高さ3.9m、5階の階高さ3.8mとしている	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.211	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		隣接建物にあるルバーを外観に採用	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制		外部に面する開口のガラスは複層ガラスとし、ブラインドを設置している	3.6	0.30			3.6
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.0	0.30			3.0
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水コマ、節水便器の採用	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63			3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	庇下地:木質系セメント板、廊下床:ビニル床材、休憩室床:畳、エントランス床:磁器質タイル	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	一部間仕切を可動間仕切と移動間仕切を採用している	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22			3.5
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ビニル床材用接着剤	4.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68			
1	消火剤	ハロン消火剤を使用しない	4.0	0.33			
2	断熱材		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮			2.3	0.33			2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			